

栄から広小路へ

名古屋市は8月に中心部を東西に走るメインストリート・広小路通りについて、栄から伏見までを片側2車線から1車線に狭め、歩道を拡幅する計画をまとめた。「広小路ルネサンス」構想をめぐって、地元やタクシー・運送業界、市議会などで大きな反響を呼んでいる。とりあえず広小路通りの現状を確かめたいと考え、平日の午後に歩いたり、バスの先頭に座って写真を撮ることにした。



栄から伏見に向かって歩いていくと、丸栄あたりまで歩道を行き来する人が多かった。歩道には自転車がおかれ、道路には客待ちのタクシーなどが並んでいた。「丸栄」近くでタクシーから降りるお年寄りのことが気がかった。確かに現状のままで車線を減らすと、交通渋滞などの問題も予想される。



「車社会」名古屋をどう転換していくのか、現実とともに将来像を含めて、じっくりと議論すべきであろう。大学のゼミで議論した際も、意外に「現実論」から反対意見が多かった。「現実論」とともに、大所高所からの「まちづくり論」を期待したい。歩道を広げて幅50呎のせせらぎをつくり、昔のような「広ぶら」ができる魅力的な通り、街並みを期待していきたい。納屋橋まで歩いてみると、名古屋のいろいろな「顔」が発見でき楽しかった。それにしても、広小路から見える名駅前にそびえる異様で威圧感のある「スパイラルタワー」がどうも気になった。



(2007年11月26日 記)